

味を持って楽しむか、つまらなくやり過ごすのかで人生は大きく変わります。

鎌山相談役は著書で、「歴史に名を遺す偉人に共通するのは、最後まで成長を目指し続ける姿勢です。私が敬愛する喜劇役者のチャーリー・チャップリンはまさにそうでした。」と述べています。

家庭環境に恵まれなかったチャップリンは、にこりともしない母親をどうにか笑わせようと毎日工夫を重ね、少し笑えば、もっと笑わせようと懸命に努力しました。それだけに、数多くの作品を残しながら、一つとして同じ手法を使っていません。ある時、記者から「今までの中で最高の作品は何ですか」と問われ、即座に「ネクストワン(それは次の作品だ)」と答えたそうです。

毎日の積み重ねが成長につながります。そして常に挑戦し続けることが大切な要素だと思います。すすんで失敗しに行ったときほど失敗しないものです。初めて自転車に乗った時、転ぶのを恐れてビクビクしながら漕いでいると転びます。転んでもいいや!と開き直って漕いだ時、意外と転ばないものです。

恐怖心について研究で次のことが明らかになっています。

恐怖の60%は、実際に起こる可能性のない、根拠のないものである。

恐怖の20%は、自分ではどうすることもできない過去の出来事に関するものである。

恐怖の10%は、まったく影響力のない、取るに足りないものである。残りの10%のうち、合理的といえる恐怖は4~5%にすぎない。

つまり、95%の恐怖は無駄に終わっているということです。

チャップリンの「ネクストワン」も挑戦し続けているからこそその言葉と思います。恐れず挑戦し、意識して成長を積み重ねていきましょう。

9月度安全大会

■ 山下健二部長

安全

9月に入ってめっきり涼しくなりましたが、8月県内は昨年にも増して異常な程の暑さでした。現場の熱中症対策・個人の熱中症予防によって、熱中症患者も発生せず、またケガ等も無く無災害で終わることが出来ました。9月も引き続き安全への配慮を怠ることなく、現場管理をして下さい。

◎今月の安全重点目標

【土 木】新規入場者教育の徹底、安全施工サイクルの徹底

【建 築】飛来・落下災害防止、保護具の完全装着



スピードアップの鍵は!

鎌田善政社長

世の中の情勢は我々が想像する以上にスピードアップしており、我々も乗り遅れないように共に進んで行かなければならない。原価を



下げる事も同じで、休日を確保しつつ、工期短縮や様々な方法で現場管理を行ってほしい。建設業は天候に左右される業界であり、工事を受注したら早期に着手して少しでも早く完成させることが大事である。その為には、常日頃から周囲との連携や情報の収集に努め、発注者の方々から良い評価をいただけるように最善の努力を重ねる必要がある。

自分自身が一生懸命に行動を起こせば人を惹きつけ、必ず応援をしてもらえるものである。要は物事に対してどれだけ真剣に取り組む姿を見せられるかである。グループ会社においても、お互いに情報を共有してグループ会社全体が業績を上げられるように最善の努力をお願いしたい。

社員一人一人が自分の所属する会社だけでなく、苦戦しているグループ会社の宣伝を行い、大いに盛り上げてもらうことを期待します。

意識しないと上達しない

鎌田安典副社長

アメリカのある作家は「忙しいだけでは十分ではない。アリだっただけで忙しい。問題は何をしていたかということである。」と言っています。忙しいに働いている人が、必ずしも生産性が高いわけではありません。段取りや優先順位の付け方が悪いために、無駄な時間を浪費しているだけかもしれません。「あの男には15年の経験があるか。それとも1年の経験を15回繰り返しただけか」ある会社の上司の言葉です。



毎日経験しても向上しないことはあります。例えば歯磨きが1年前より上手くなっているか?笑顔が素敵になっているか?字が上手になっているか?おそらく、日常で何気なくしていることは向上しません。意識しないことには変わらないのです。正しい歯磨きの方法を調べて実際にやってみて初めて歯磨きは上達します。笑顔を良くしようと、鏡の前で練習して初めて笑顔が素敵になっていきます。

子供のように好奇心や興味をもって、何事にもワクワクを取り組むことで成長につながります。毎日同じような仕事をしていると思ってしまうときもあるでしょうが、それに興